

2 節 科目修了試験

I 科目修了試験とは

履修方法「R」で科目単位を修得するために受験する会場試験です。

※レポートの合格と併せて、科目の単位が認定されます。

※出題内容は『レポート課題集』の各科目の「科目修了試験 評価基準」参照、解答は論述式（一部例外あり）となります。

※受験料は学費に含まれており、別途費用はかかりません。

※下記の詳細については、該当ページをご覧ください。

【科目修了試験におけるルール】：p. 180～

【科目修了試験の流れと留意事項】：p. 181～

※科目修了試験に関するメールでのお問い合わせ
ut@tfu-mail.tfu.ac.jp（科目修了試験係）

試験日程 ・会場

年間全8回、全国各地の会場で実施します。

※会場によって実施回数は異なります。

※年間予定は『試験・スクーリング情報ブック』2部を参照。

※各回の詳細や申込案内は、機関誌『With』3部を参照。

時間割

標準的な時間割は下記のとおりですが、異なる場合もありますので、必ず機関誌『With』にてご確認ください。

【土曜日実施会場（例）】

集合時間13：30	
時 間	科 目
13：30～13：45	諸連絡
13：45～14：30	1科目め
14：30～15：15	2科目め
15：15～16：00	3科目め
16：00～16：45	4科目め

【日曜日実施会場（例）】

集合時間9：45	
時 間	科 目
9：45～10：00	諸連絡
10：00～10：45	1科目め
10：45～11：30	2科目め
11：30～12：15	3科目め
12：15～13：00	4科目め

単位修得方法

履修方法「R」：科目修了試験の合格と併せて、レポート全課題の合格も必要です。

II 科目修了試験におけるルール

受験資格

科目修了試験は、次の3つの条件を満たしている場合に受験できます。

- 1) 申込締切日までに、受験する年度の学費を納入済みで、受験希望科目の履修登録を行っていること。
- 2) 申込締切日までに、受験希望科目のレポート課題をすべて（合否にかかわらず）提出し、受付されていること。
※レポートに不備がある場合は受付されません。
- 3) 申込締切日までに、申込みを行い、受験を許可されていること。

申込方法・締切

「試験申込みハガキ」（機関誌『With』巻末）と「受験希望科目の全課題のレポート」を、指定の申込締切日必着で郵送してください（詳細はp.181～182参照）。

受験可能科目数

1回の科目修了試験で4科目まで。

※「卒業試験」を受験する場合は2科目分の時間を要しますので、その他の科目は2科目まで。

その他

- 1) 受験済みの科目修了試験の結果が不明のまま、次回の受験申込みをする場合

前回の科目修了試験結果が出ていなくても、次回の科目修了試験の申込・受験することが可能です。

※どちらか一方が合格の場合、その成績が有効となります。

※いずれも合格の場合は、先に受験した試験の成績が有効となります。

- 2) 履修方法「R or SR」科目の場合

・科目修了試験に合格し、単位修得した科目でも、スクーリングを受講し合格すれば、スクーリング単位が修得できます（総合評価は科目修

了試験より変わりません)。

- ・同じ科目について、同時期に科目修了試験受験とスクーリング受講を行った場合。

※どちらか一方のみ合格の場合は、その成績が有効となります。

※いずれも合格の場合は、最初に結果が出た方の成績が有効となります。

- ・スクーリングを受講し合格済みの科目は、科目修了試験の受験はできません。

Ⅲ 科目修了試験の流れと留意事項

1 受験申込み

申込方法

「科目修了試験申込みハガキ」(機関誌『With』巻末)を下記要領にしたがって作成し、郵送する(申込締切日必着)。

《ハガキ裏面》

①学籍番号, ②氏名, ③希望受験会場(都市名), ④受験希望科目, ⑤科目コード(『レポート課題集』参照)を記入してください。

《ハガキ表面》

62円切手(5月までは52円)を貼付し、住所・氏名を記入。氏名バーコードを貼付。

※申込科目と投函日を控えておいてください。

※申込みハガキと併せて「受験希望科目の全課題のレポート」の提出も必要です(レポートに不備がある場合は受付されません)。



大学側で受験資格を判定後、「科目修了試験受験通知書」(ハガキ)を送付します。

※「受験通知書」に「受験可」の記載がある科目のみ、受験ができます。

※「科目修了試験受験通知書」が機関誌『With』3部に記載の日程までに届かない方は、通信教育部までご連絡ください

申込みハガキの記入要領

2月科目修了試験申込みハガキ

学籍番号 14TW991	氏名 福祉 歩美
以下のとおり、2月科目修了試験受験を申込みます。	
希望受験都市	
都市名 仙台	
↓東京会場希望者はいずれかに○	
東京 2/25(出) 13:30~	東京 2/26日 9:45~
○	
○	
受験希望科目 (最大4科目)	科目コード (レポート課題等)
1 健康科学	AK1016
2 福祉法学	CB3063
3 } 卒業試験	ZZ5999
4 }	
■ 1月科目修了試験結果不明科目があり、5科目以上申込心場合	
⑦	⑧
⑦	⑧

※宛名面には、氏名バーコードを貼り付けてください(不足しましたら、通信教育部へご連絡ください)。

学籍番号・氏名・受験希望都市名を記入してください。

受験希望科目・科目コードを記入。
※卒業試験は科目コード「ZZ5999」とし、2科目分の欄を使用してください。

前回の科目修了試験結果が不明のため、5科目以上申込み場合は、ハガキの⑤～⑧の欄も使用してください。

優先順位は①が最高で、以降が下がっていきます。

4科目以内の場合は、①～④の欄に記入していただいで結構です。

申込上の注意

- 1) 同じ月(回)に実施される試験では、1会場かつ1回のみ、受験できます。
- 2) 卒業試験を申込みの方は、2科目分の受験時間が必要です。
- 3) スクーリングと日時が重なる受験申込みをした場合、「スクーリング受講許可証」「科目修了試験受験通知書」の両方とも発行されますので、各自の責任で一方を選択してください。
- 4) 会場の都合等により、1～2科目受験の方に受験時間変更のご協力をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。

申込後の変更

申込後に受験科目や会場の変更を希望する場合は、申込締切日までに科目修了試験係宛てに書面(メール・FAX・郵送。様式任意)にてお申し出ください。

会場試験 対象外 科目

1) 履修方法「R」で、会場での試験を実施しない科目

- ・「福祉ボランティア活動」…レポートの合格のみで単位を認定します。
- ・「情報処理」…会場試験を実施しません。大学からメールで送信された課題を、期限までに自宅で解答する方法で実施しています。

2) 「情報処理Ⅰ」試験申込要領

レポート課題（2課題）にすべて合格する。



ur@tfu-mail.tfu.ac.jp（「情報処理Ⅰ」レポートの送信先アドレス）へ、下記要領にしたがい科目修了試験申込を行う。※メールは随時受付。

＜件名＞「情報処理Ⅰ」科目修了試験申込

＜本文＞①学籍番号，②氏名，③科目修了試験を受験する旨を記載



申込みをしたメールアドレスに、大学から試験問題が送信されるので、期限までに解答し、ur@tfu-mail.tfu.ac.jpに返信。

※解答期限は、試験メール送信後、約2週間です。

2 科目修了試験の準備・確認

事前の準備・確認

1) 受験通知書の確認（必須）

「受験可」となった科目のみ受験可能です。

※「受験不可」の科目は、受験しても評価がつきません。

2) 配慮希望申請用紙の提出（希望者）

身体等の障がい等により特別な配慮を希望する方は、「配慮希望申請用紙」（巻末様式13）を事前にご提出ください。配慮が可能かどうかを検討のうえ回答いたします。

3) 試験勉強

- ・教科書全体が出題範囲で、解答は論述式となります（一部例外有り）。
- ・『レポート課題集』の「在宅学習のポイント」や「到達目標」を参考に教科書の確認と、レポート課題の復習を行いましょう。

当日の準備・確認

- 1) 持参物
 - ①学生証
 - ②受験通知書
 - ③筆記用具
 - ④(新潟・長岡ほか)上履き, および靴を収納するビニール袋
 - ⑤教科書(教科書持込可科目:「受験通知書」にてご確認ください)
- 2) 集合時刻・時間割

機関誌『With』3部にてご確認ください。

※標準的な集合時刻・時間割は, p. 179参照。

3 科目修了試験の受験にあたって

実施方法

- 1) 試験解答時間は1科目につき45分です。

※2科目以上を受験する場合, 45分経過するごとに, 試験監督者が解答用紙を1科目分ずつ回収します。
- 2) 試験開始から25分経過後は, 解答用紙を提出のうえ退室が可能です。

※退室後は再入室不可。
- 3) 解答用紙は1科目につき1枚です(A4サイズで表裏を使用)。
- 4) 問題用紙は1冊の冊子になっており, その中から受験科目の問題文を転記のうえ解答を始めます。

※問題用紙は持ち帰り可能で, 他の科目の問題も記載されているので, 次回以降の参考にすることができます。
- 5) 2科目以上を受験する場合, どの科目から取り組んでも構いません。

※「教科書持込可科目」がある場合は, まずはそれから取り組み, 終了したらすぐに教科書をしまってください。
- 6) その他, 試験監督者の指示に従って受験してください。

「教員免許状更新講習」の同時開催について

科目修了試験の会場にて, 「教員免許状更新講習」の試験を同時に実施する場合があります。試験開始前のアナウンスが複雑になるなど, 若干のご迷惑をおかけしますが, ご了承ください。

受験上の注意

- 1) 学生証と受験通知書を常時机上に提示してください。
※その他、机上に置けるのは、時計、筆記用具等、試験監督者から指示のあったもののみです。
- 2) 解答用紙への記入は、HB以上の濃さの鉛筆（シャープペンシル）、または黒または青色のペン（ボールペン）を使用し、はっきりとした文字で記入してください（修正液の使用可）。
- 3) 解答用紙の提出は、必ず試験監督者に手渡ししてください。
- 4) 棄権する場合、解答用紙に学籍番号・氏名・科目名・受験都市名、および解答欄に「棄権」と記入のうえ、最後にご提出ください。
- 5) 「教科書持込可科目」科目を除き、教科書・ノート等の持込は一切認められません。
- 6) カンニング等の不正行為があった場合は、当日の試験はすべて無効とし、規定にしたがって懲戒処分とします。
- 7) お手洗いをご希望の際や、体調不良の際は、挙手にて試験監督者へお知らせください。
- 8) その他、試験監督者の指示に従って受験してください。

欠席・遅刻の扱い

- 1) 欠席や、当日の遅刻の連絡について
東北福祉大学通信教育部（TEL：022-233-2211）へお願いします。
※その他の会場への連絡は、ご遠慮ください。
- 2) 遅刻の扱いについて
1科目め試験開始後、20分以内の入室ならば受験を認めます。
※遅刻した分の試験時間の延長はありません。
- 3) 公共交通機関（高速バスを除く）の遅延による遅刻について
 - ・公共交通機関の遅延が判明した時点で、可能な限り大学へ連絡してください。
 - ・公共交通機関発行の「遅延証明書」を試験会場へ持参した場合に限り、1科目め試験開始後20分を超えても受験を許可します。
※最終4科目めの終了時間までの試験時間延長が可能です。

試験中止の場合

自然災害や会場の都合等、学生の責によらない理由により、試験の開催が中止となった場合は、代替の手段により受験ができるよう配慮いたします。

4 科目修了試験時の学習相談

学習および資格取得にあたっての質問・相談に応じています。職員や試験監督者にお気軽にお声掛けください。

仙台駅東口キャンパス：通信教育部事務室にて職員が対応いたします。ただし、担当職員不在の場合は、後日の回答になることもあります。

その他の会場：会場にて試験監督者が対応いたします。本学卒業生等に委託しているため、後日の回答になることもあります。

IV 科目修了試験の結果通知

通知方法

試験実施後1カ月以内に、郵送で通知（ハガキ）します。

※それ以外（電話やメール等）での問い合わせには応じられません。

評価基準 ・成績

「科目修了試験 評価基準」（『レポート課題集』の各科目参照）に基づき採点され、下表のとおり成績が決定します。

- ・原則、科目修了試験の点数のみで評価します（一部にレポート評価が加味される科目あり）。
- ・採点された解答用紙は返却しません。
- ・解答に対する指導はできませんが、結果に疑問のある方は、通知の到着後1週間以内に書面（郵送・メール・FAX。様式任意）にてお申し出ください。

点数	成績	合否	点数	成績	合否
100～80 (100～90)*	優 (秀)*	合格	59～0	不可 棄権 無効	不合格
79～70	良				
69～60	可				

*2017年3月現在「秀」はGPA計算時のみ（p. 261～262参照）。現在「秀」の表示が出るように修正中。

不合格の場合

- 1) 次回以降の科目修了試験に申込・受験することが可能です。
- 2) 合格するまで何度でも受験可能です。
- 3) 履修方法「R or SR」科目であれば、科目修了試験受験からスクリーング受講に替えて合格を目指すことも可能です。

【落胆することなく、学習を続けてください】

問題は持ち帰りが可能なので、何回か受験すると出題傾向が見えてくると思います。

大学での学習は、努力を惜しまず、その学問と向き合い、試行錯誤を繰り返すなかで知識を身につけていくものです。大変な面はあるかと思いますが、学習を続けていってください。

アドバイス**科目修了試験対策の学習法**

学生の声

皆さんが苦労している科目修了試験。試験の対策はどのようにされているかなどを中心に学生の方の声を紹介します。人それぞれ試験勉強のスタイルは異なります。ご自身にあった学習法を見つけてください。

●社会福祉学科 E.T.さん

試験勉強は暗記が必要ですが、1週間前に集中してやるようにしています。試験にはほぼ毎回出て持ち帰った問題用紙を用いて、次に受けそうな科目の傾向を調べておきます。また、友達と情報交換して出題傾向をつかむようにしています。

福祉の仕事についているので、職場でのホットな問題や具体例が勉強や試験の解答にも役立ちます。試験前はレポート課題の復習もします。レポートの課題がそのまま試験の問題として出題される科目は多くはないですが。

試験で単位がとれたのは、たまたま勉強したことが出たなど運がよかったと自分で感じています。

●社会福祉学科 C.S.さん

科目修了試験対策としては、レポートの復習をします。戻ってきたレポートを読み直し、コメントなどに従って、自分で赤字で補足・修正していったりします。

あと、教科書のキーワードになるところを復習します。たとえば、「地域福祉論」ならば、「社会福祉基礎構造改革」「社協」「在宅福祉サービス」……などでしょうか。これまでの科目修了試

験では、もちろん落ちた科目もありますが、2回め、3回めで何とかなりました。

入学直後は、今から考えるとひどいレポートを出していたかな、と感じています。教科書をうつしているようなレポートでした。「心理学概論」や「福祉社会学」のスクーリングを受けて、ここがポイントかな、とわかったような気がしました。

●福祉心理学科 M.O.さん

試験は、ヤマはかけないです。ヤマがはずれると不可になってしまいますから。1カ月前から本を何度も読んで、たとえば「臨床心理学」のなかの「箱庭療法」って、こんなもんなんだな、ということを理解するようにしています。

私は本を読むのが大好きなんです。読んでいる過程で大事なところがわかってきます。また、県立図書館や県の総合福祉センターの福祉専門の図書室に足を運びます。また、福祉関係職の情報交換の集まりで、違う分野のことを聞いて教えてもらったりもしています。

●科目修了試験のためにどのような勉強を行いましたか。

- ・テキストの重要な箇所を読んでおく。レポート課題と、その答をよく読んでおく。
- ・自分で試験問題を考え、書いてみること。
- ・教科書の索引に書いている用語は調べて、理解しておく。
- ・教科書の重要なポイントをメモ帳に書き出し、それをくり返し読んだり書いたりして覚えた。
- ・1日中メモを離さない。何回か書きながら文章として自分で作りあげていくものを暗記する。
- ・ポイントとなる用語を書き出して、何度も書いてみた（そのポイントをつなぎ合わせるようにして）。
- ・レポート課題のような問題を自分で作成し、解答してみた。ヤマが当たればよいですが、全然関係のない問題の場合は頭が真っ白だった。
- ・過去問、レポート、自分なりの予想問題を5問程度作成し学習した。

●科目修了試験の準備等についてアドバイスがあれば教えてください。

- ・手書きでまとめ直すことをお勧めします。読み返すだけだと記憶に残りにくいし、時間内に要点をまとめることが難しくなります。
- ・必ず合格する、という強い気持ちで。試験はムリだから受けないということを考えない方がよいと思う。問題を持ちかえるだけでも良いはずだと思う。
- ・レポートと試験の問題は違うケースが多く、広く勉強しておく。
- ・教科書は、細部まで一応理解を要するが、何度か読むと重要な部分が見えてくると思う。何度か受けて試験問題を手にすると勉強しなければならない内容がわかってくる。
- ・試験勉強は思ったより、時間がかかります。早めに取りかかり、「このような問題が出るのではないか」といった予想ができるほどになれば合格できるのではないのでしょうか。